

様式第4号(第15条関係)

## 会 議 録

1 附属機関等の会議の名称

平成29年度第1回美里町生活支援体制整備協議会

2 開催日時 平成29年6月23日(金)午前10時から午前11時30分まで

3 開催場所 美里町健康福祉センターさるびあ館 2階研修室

4 会議に出席した者

(1) 委員

小野俊次委員、佐々木義夫委員、千葉久美委員(佐藤美佳委員欠席のため代理出席)  
佐藤俊幸委員、浅野恵美委員

(2) 事務局

相原浩子、横山太一、笠松清、永沼威雄、高橋ゆかり

(3) その他

## 5 議題及び会議の公開・非公開の別

### 議題

#### 1. 報告

- ・生活支援コーディネーターの配置と業務について
- ・協議委員の交代について

#### 2. 協議内容

- ・美里町生活支援体制整備協議会設置要綱の一部改正による会長及び副会長の互選について
- ・平成28年度の評価と今後の課題について
- ・平成29年度事業の推進について
  - 協議会のしくみと役割について
  - ビジョン(テーマ)について
  - 年間計画について
- ・その他

### 会議の公開・非公開の別

#### 公開

## 6 非公開の理由

## 7 傍聴人の人数

0人

## 8 会議資料

別紙のとおり

## 9 会議の概要

### (1) 議題の審議結果又は今後の対応

- ・平成29年4月より美里町から美里町社会福祉協議会が事業を受託し生活支援体制整備事業を実施していくこととなり、平成29年6月1日より生活支援コーディネーターが配置された。
- ・協議会委員（居宅介護支援事業所の代表者）が、みどりの農業協同組合の千葉久美委員から佐藤美佳委員へ交代となる。
- ・生活支援体制整備協議会会長として小野俊次委員、副会長として佐藤美佳委員が選任された。
- ・今年度のテーマを「美里の宝探しをしてみよう！」（地域支え合い活動の把握・情報収集）とし、お茶飲み会やサロンなどを取材し、広報誌の発行を目指すこととした。
- ・協議会の委員も地区社協情報交換会等へ積極的に足を運び、地域の実情や地域課題を知る機会をもつこととした。
- ・第3次美里町地域福祉活動計画策定に伴い、生活支援体制整備協議会から佐々木義夫委員を策定委員として推薦した。

### (2) 詳細な意見

相原技術主幹	平成29年度第1回美里町生活支援体制整備協議会を開催させていただきます。初めに、開会挨拶を美里町社会福祉協議会の笠松会長からお願い致します。
笠松会長	介護保険法が改正されまして、地域福祉につきまして様々な方面からみんなで協議してより良い地域づくりを進めたいと思います。平成29年度から、社協が本事業を受託しまして地域福祉について、さらに充実していきたいと思いますが、委員の皆様

	<p>さんに様々なご意見を頂きまして、更に更に充実したものにしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
相原技術主幹	<p>続きまして、2. 報告(1)生活支援コーディネーターの配置と業務について説明いたします。美里町生活支援体制整備事業実施要綱第3条及び第4条に基づきまして、生活支援体制整備事業を実施しております。事業につきましては、生活支援コーディネーターの配置と美里町生活支援体制整備協議会の運営を事業の内容としております。昨年度までは町が主体で事業を行ってきたのですが、今年度からは美里町社会福祉協議会に委託して実施していくことになりました。そのために、生活支援コーディネーターの配置につきましては、社協から説明をお願いします。</p>
浅野委員	<p>委員ではありますが、進行上、若干説明をさせていただきます。町から委託を受けまして、この事業を実施する上で、やはり欠かせないのが生活支援コーディネーターということになります。社協も町と相談しながら、人材の確保に努めていた所です。4月採用という事で、募集し応募は頂きましたが、不採用になったという事もあり、改めて募集をかけ、この度採用することができました。美里町社会福祉協議会地域福祉課で生活支援コーディネーターとして、この職について頂く職員を皆さんに紹介したいと思います。</p>
高橋	<p>6月1日から美里町社協でお世話になっております。高橋ゆかりと申します。生活支援コーディネーターとしては新米で、まだまだ勉強中の所ではありますが、まずは地域に溶け込めるように頑張りたいと思っています。また地域が元気になる為の協議会になるように、協議会と一緒に成長したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。</p>
浅野委員	<p>高橋は、涌谷出身涌谷在住なので、美里町のことはこれから一緒に勉強するという事になります。社会福祉士という国家資格を持った専門職でありますので、専門性を十分活かしていけるものと思います。どうぞよろしくお願い致します。以上です。</p>
相原技術主幹	<p>続きまして、(2)協議委員の交代について説明させていただきます。美里町生活支援体制整備協議会設置要綱 第3条に協議会の委員はどのような方がなるかという事が書いてあります。(5)居宅介護支援事業所の代表者という事で、昨年度はJA みどりのふれあい福祉センターの千葉久美委員が出席しておりましたが、業務の調整等や諸事情により、今年4月1日から委員の変更をしております。同じJA みどりの農業協同組合の福祉部福祉業務課長の佐藤美佳さんにうけて頂きました。佐藤美佳委員は本日欠席のため、代理で千葉前委員が出席しております。佐藤美佳委員につきましては、JA みどりの居宅介護支援事業所の業務統括をしておりますので、こちらの協議会でたくさんのお意見を頂けると思っておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>では、3. 協議内容に移りたいと思っております。ここからは、生活支援コーディネーターの高橋さんをお願いしたいと思います。</p>
高橋	<p>3. 協議内容につきまして、(1)美里町生活支援体制整備協議会設置要綱の一部改</p>

	正による会長及び副会長の互選について、浅野課長よろしくお願いします。
浅野委員	今年度設置要綱が変わりまして、第5条「協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。」第5条2項に、「会長は協議会を代表し、会務を総括する。」3項に「副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。」となっています。今年度からは協議会の会長、副会長を選任する必要がありますので、委員の皆様の互選によって会長、副会長を決めたいと思います。皆さんご意見いかがでしょうか。
小野委員	昨年度は、健康福祉課の青木課長だったと思うのですが。
浅野委員	昨年度までは、会長、副会長はなく、座長ということでした。
相原技術主幹	昨年度までの協議会では、座長という形で健康福祉課長がやっていたという事です。
浅野委員	昨年度の協議会設置要綱第5条において協議会に座長を置くとなっていて、座長は美里町健康福祉課課長の職にある者をもって充てる、座長は協議会を代表し会務を総括するとありまして、座長が健康福祉課長でした。今年度からは会長、副会長を置くことになりました。いかがいたしましょうか。
小野委員	では、健康福祉課長が会長となるのはいかがでしょう。
佐藤委員	今回の流れとして、美里町社協が主体となってやって頂けるという事で、行政主導ではない雰囲気の中でやって頂きたいという思いがあります。美里町社協に協議会の運営等をお願いした流れもありまして、委託している行政が、また会長をやるとなると、本来の委託した意味がなくなるというか、意味が薄れると思いますので、できれば別な形で会長さん等を決めて頂ければと思います。
高橋	他の委員さんの意見を頂きたいと思いますが。
佐々木委員	一番は、この協議会の会長にふさわしい環境の人がいいのかなと思います。副会長は、会長を補佐するという立場なので、ちょっと違った環境の人でも良いのかと思います。この生活支援体制整備事業を進めていく環境の人って誰なのかと考えた時に、行政主導ではないので、行政関係の方であれば副会長として支えてもらえればと思います。住民主導という思いが強いので、できれば住民に近い私や小野委員なのかなと。そこに専門的な立場の方が副会長になるのかなと。みなさん、どう思いますか？
高橋	みなさん、どうでしょうか？
千葉委員	佐々木委員がおっしゃる通り、地域住民が主体なので、住民の課題が吸い取れるの方がいいのかなと思います。
高橋	住民主体の事業なので、地域住民に近い立場の方がいいのかなという意見が出ましたが。
佐々木委員	その考えで統一ということであれば、本日欠席の委員は...
浅野委員	シルバー人材センターの伊藤委員と遠田商工会の馬場委員です。
佐々木委員	そうすると、会長は私か小野委員が良いですかね。この考えはどうでしょうか。

小野委員	良いと思います。
浅野委員	今までは、法律や制度は行政主導のものだったけれども、改正介護保険法で、より地域のみなさんの活動を含めた形での法改正になっているので、やはり住民の声を一番拾って、この協議会の場に持ってきて頂ける方が会長になって頂けたらいいなと思います。副会長については、例えば専門的な立場の事業所や行政でも良いと思います。小野委員は行政区長でもありますので、協議会の会長としていかがでしょうか？
佐々木委員	私も適任だと思います。
高橋	いかがでしょうか？
小野委員	私でよければ引き受けたいと思います。
一同	拍手
高橋	それでは、本協議会の会長として小野委員にお願い致します。続きまして、副会長の選任をお願いします。
小野会長	浅野委員が副会長になるのはどうですか？
浅野委員	私は運営主体の職員なので、公平な立場の方になっていただいたほうがいいのではないかと思います。
小野会長	わかりました。副会長は女性の委員がいいかな。
佐々木委員	女性の委員がいいですね。会長・副会長とも男性だと考えが偏ってしまうかもしれません。どうしてもできない場合は、私が引き受けても問題ないのですが。
浅野委員	副会長は女性という意見についてはどうでしょうか。
一同	いいと思います。
浅野委員	角田委員は今日欠席ですが、社協の地域福祉活動計画策定委員でもあるため、できれば佐藤美佳委員にお願いしたいと思うのですが。
千葉委員	みどりの農協でも地域福祉への貢献を色々検討している所でございまして、佐藤も昨日のコーディネーター研修を受けまして、勉強していることもありまして、微力ながら私でよければというような話はありました。
高橋	それでは、副会長はJAの佐藤美佳委員でよろしいでしょうか。
一同	拍手
高橋	会長、副会長が決まりましたので、小野会長よりご挨拶を頂きたいと思います。
小野会長	住民本位という事で、住民に一番近い立場のため会長をお受けしました。2年位前から生活支援の会議を何回かしましたけれども、本当に生活支援は難しいなあと感じていますが、よろしくご協力お願いします。
一同	拍手
高橋	では、これより進行を小野会長にお願いします。
小野会長	これから色々みなさんで勉強しながら、安心して安全な住みよい町を作っていく為に微力ながら頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いします。それでは、協

	議内容(2)平成 28 年度の評価と今後の課題について事務局から説明をお願いします。
相原技術主幹	<p>(2)については、健康福祉課の相原から説明させていただきます。昨年度まで生活支援体制整備協議会は、町が実施してきた経緯もありまして、今までの評価と今後どういったことをしていったらいいかというあたりをお話させていただきたいと思います。町では、平成 27 年 4 月 1 日から生活支援体制整備事業を行ってきました。昨年度から生活支援体制整備協議会を本格的に実施しまして、27 年度は準備委員会を 2 回開催、28 年度は協議会を 4 回開催しております。</p> <p>協議会での意見としては、ゴミ捨てや灯油入れに困っている人が多いという意見や、買い物や受診の移動支援を地域だけでは解決していくことが難しいという意見、行政区長・民生委員は地域の方々から様々な相談をたくさん受けていて大変という意見、地域の中で行政区長・民生委員と一緒に考えてくれる人や地域にある話し合いの場を使って支えていけたらいいという意見がありました。また、地域で孤立している人や家族をどうやったら気づいていけるのか考えていけるといいかなと思います。</p> <p>家族の中には高齢者と障害者が同居していたり、高齢者の相談のみ・障害者の相談のみでは解決しないことが地域には沢山あったり、解決したいことが制度に合わない利用できない人もいます。また、美里町には沢山の福祉事業所がありますが、地域のお茶飲み会や研修等を地域の皆さんと行うことで、地域の力になれるのではないかと感じておりました。</p> <p>地域の住民の方と支えあって地域福祉を推進してきた美里町社協には、地域づくりの実績がありますので、生活支援体制整備事業につきましては美里町社会福祉協議会へ委託することになりました。生活支援体制整備協議会の運営と生活支援コーディネーターの配置について実施している所です。</p> <p>地域では、今まで行ってきた地区社協情報交換会や話し合いの場といった、地区社協の活動については、是非これからも続けていってほしいなという所です。地区社協の活動そのものが、体制整備の基盤になっていくのかなと考えております。情報交換会や話し合いの場に、ここにいる委員や介護・障害福祉の専門職や県保健福祉事務所の方々も是非参加させていただきたいと思っております。町全体としては、各関係機関や会議間の横のつながりを持って、連携や情報共有を図っていけるようにします。</p> <p>今後、地域との情報交換や話し合いの場をどうするかと考えた時に、行政区単位、小学校区単位、中学校区単位、どんな範囲で会議や話し合いがあると地域課題などを話しやすくなるのかという事も今年度考えていけるといいと思います。また、この協議会をより良いものにしていく為に、今後どんなメンバーで話しあえると良いかということ今年度考えていけたらいいと思っております。</p>
小野会長	ありがとうございます。今、平成 28 年度の評価と今後の課題についてのお話がありました。みなさん何かご質問やご意見はありますか？
浅野委員	2 年間準備会と協議会を町でやってきましたが、その中で、地域のことを話しあい、

	<p>事業所として地域に対して何ができるかなということを今までに積み上げてきたものがあると思います。地域の皆さんの声を聞いたり、事業所の声を聞いて作っていかなくはないかなと思っております。今後も、相原さんより提案がありましたけど、どういうメンバーでどういうエリアでどういう方々と話をしていったらいいのかなとなった時、もう一度考え直して話し合いをより深めていけたらいいのかなと思います。</p> <p>協議会は何かを決めて議決をしていくものではなくて、話し合いを積み重ねて行くような性格の協議会ですので、是非いろんな場面を捉えて、話し合いの場に委員も積極的に行くというようなスタンスで行きたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
小野会長	確かに事業所さんと地域のみなさんとのコンタクトって何にもないからね。
佐々木委員	そうですね。ただ、地域密着型になれば、必然的に連絡会っていうのを置かなくてはならなくて、やらなければならないけど...・
小野会長	<p>私の行政区にあるグループホーム花水月さんは、住民との話し合いは、やらないとダメだと考えています。二月に一回はいろんな行事や避難訓練等があって、私も必ず参加しています。逆に行政区のグランドゴルフ大会には招待して、来てもらっています。それでも実際に中身はお互いにわからないんです。地域と事業所間のコンタクトもとりたいと思うのですが。</p> <p>一番難しいのは、何かを協議会で解決するわけではないですね。それが非常に難しい所ですよ。答えがでないような話し合いをしながら、少しずつ進めていくような会だと思うので、ざっくばらんに意見を出してもらおうのがいいと思います。</p>
佐々木委員	今こういう活動が重要だということを住民の方々に理解してもらうことが先かなと思っています。まず、最初に誰に理解してもらって、どうやって広げていったらいいのかなと考えていかないと、進みが遅くなるのかなと考えています。あと逆にいうと、逆なでにテコ入れをして目立つように、あそこでやっているんだよね、私達もやりたいよね～という風に持っていくか、そういうことを具体的に考えて、そこに協力して具体的な活動するとか。
小野会長	行政区で講習会をするときに、花水月さんから去年も来てもらって、認知症についてお話してもらいました。事業所がある行政区はつながりをもてるといい。
佐々木委員	花水月さんと、小野委員がいて輪が広がっていて、たまたま合致して盛んになったけど、もっと輪を作ったり広げることは、非常に難しいことだと思います。そういう人の理解を進めて作っていくのか、地域に、まわり込んで別な物をつくって、きちんと情報を提供して進めるやり方がいいのか...。
小野会長	現実によると、事業所に10人位の入所者がいても、どういう状態なのか全くわからないんですね。だから私も民生委員と近所の人3人と、家族の人と地域包括支援センターの人と、そのメンバーで2ヶ月に1回くらい事業所と話しあっているのです

	<p>が、この人は避難訓練する時に車椅子が必要だ、とかお互いわかれればいいよね。そういう部分では、まず地域の方からやっていくしかないのかと思うのだけど。佐々木委員の事業所ではどうですか？</p>
佐々木委員	<p>私の事業所も地域交流を考えているのだけれども、立ち上がったばかりでなかなかね。</p>
小野会長	<p>独自に運営しているから、住民とは関係ないですよという事業所もあると聞いている。</p>
相原技術主幹	<p>5月に社協で行った町民福祉講座でも、生活支援の話し合いになったのですが、地域全体に向けた生活支援の話し合いは、今回初めて社協に企画してもらいました。これは、毎年最低1回ぐらい何かの機会に続けていけるといいのかなと思います。ただ、こういう会に来る人は決まっていたりするので、地域から私たちに講話依頼があった時などにこういう話をしていくとか、地域でお茶飲み会等がある時に、例えば佐々木委員の事業所にも参加してもらって、私たちが考えていることを伝えるやり取りを積み重ねていけたらいいのかなと思います。</p>
小野会長	<p>続いて、協議内容(3)平成29年度事業の推進について 協議会のしくみと役割の整理について ビジョン(テーマ)について 年間計画について、提案願います。</p>
浅野委員	<p>今年度については、今年は取り組みのテーマを決めて、共通した思いを持ったり、何月頃に第2回目、第3回目の協議会を開催するといったようなイメージを立てて、この協議会を進めていきたいと思っております、平成29年度の事業の推進について提案をさせて頂きたいと思っております。</p> <p>まず、協議会のしくみと役割の整理についてですが、資料としてお渡ししている生活支援体制整備事業を進めるための市町村ガイドブック41ページをご覧ください。美里町では協議体ではなく協議会と表現していますが、協議体と他の協議組織との違いということで、議案を提案して決めるという事ではなくて、ワイワイガヤガヤとお話ししていくようなものが協議体であると書いています。また、例として地域ケア会議と協議体の対比の表があります。協議体の目的は、介護保険制度の中で支え合いの地域づくりをするというものです。それから主な構成員として、住民が主体となっています。そこに専門職・機関・行政等は側面から支援しますとあるので、29年度は、そこをもう一度共有をして、ここを目指すというものを持って、進めたいなと思っております。</p> <p>この資料23ページに「協議の場は、ワイワイガヤガヤからはじめよう」と書いてあるのですが、例えば今日のような協議会のような席ではなくて、お茶飲み会のような場面で、地域住民が主体となって話し合う場がとても大事だということが書いてあります。そういう場に、私達委員がお邪魔して、話し合いをしている場面に混ぜて頂いて、そこで耳を傾けるというのを繰り返し、そしてこの協議会に持ってくる事ができればと思っております。</p>

美里町では、美里町社協として地区社協のみなさんと情報交換会を繰り返してまいりました。地域福祉活動計画を策定した時に、このしくみを作っておきまして、16地区社協あるうち、年間2回程度は行って下さいとお話ししております。32回程地区で話し合う場があります。そこに今年度も私達の方から出席して、地域の人が話している事を聞いてきて、協議会の場に持って来るという事を、是非したいなと思っております。実際、去年一昨年と小野会長や、JA 千葉さんや課長さんに来ていただきました。協議会のメンバーは各地区社協の話し合いの場に行き、地域の人達がどういふ思いで地域を作っているのかという所に、まずは行ってみたいと思います。

その中で、この ビジョン(テーマ)と 年間計画について、皆さんに意見を伺いたいと思います。この本資料の一番後ろの方に29年度の協議会の運営計画案があり年間4回位の協議会が予定されています。今年度は何月頃に協議会を開催してどう取り組むかということをご共有できればと思います。また、昨年度までは、この協議会だけで話をしてきたのですが、福祉サービス事業所等の専門職の声だけではなく住民の声を聞くような部会があったほうがいいのかなと思っております。

次のページは社協の説明ですが、社協は社協事務局を指して社協としているものではなくて、住民の会員さん1,200円の会費を納めて頂いた会員さんが社協というものを構成しています。住民が社協を構成し、今までも16の地区社協があって福祉を推進してきました。そのため、新たに地区の協議体を立ち上げなくても、美里町の場合は、すでに協議体の核になるような地区社協というものがあつて、話し合いも重ねてきたという過去の実績があるので、他の市町村に比べると少し楽かなと思っております。

次のページを見て頂くと、国は、協議会のエリアを1層2層3層というかたちで示しています。3層が自治会や行政区エリア。2層で小学校区や中学校区のエリア。1層で町単位のエリア。この3層構造と国は考えているのですが、参考資料3にあるとおり、美里町は実は5層構造だったということをご、包括との話し合いの中で整理をしました。一番小さい単位で見ると66行政区。でもよくよく聞くと、一つの行政区に二つの自治会があつたり、自治会より行政区よりも農家組合が自治会機能を主に持っていたりと、話し合いの中で私達は学びました。

4層として16地区社協、3層として6つの小学校区、2層として3つの中学校区、1層に町全体とありますが、美里町の場合、2層の中学校区というエリアで何か活動することは無いかもしれないという話を社協と包括では話してました。国では2層3層とありますが、美里町では昭和の合併を繰り返してきた小牛田地域は特に、小学校区それから行政区そこに地区社協があるということをご整理させて頂きました。

29年度の協議会のしくみと役割の整理について、今年度は何に焦点を当てて進めていくのかについては、この後みなさんのご意見を聞きながら決めていきたいと思

	<p>ております。まず、協議会のしくみとなると協議会は1層、町全体のことを私達はこの場で考えて話をするというのを、理解して共有したいと思います。ただ、第1層の話だけをしていたら、全然話は聞こえてこないの、美里町でいう5層、行政区等の小さい単位にも行って見て耳を傾ける必要があるのではないかと提議を提案します。委員の皆さんのご都合のつく日に、地区社協の情報交換会などに行っていたらと思います。できれば、年間の運営計画も吟味して頂ければと思います。</p>
小野会長	<p>今(3)の平成29年度事業の推進について全体的に話してもらったのですが、まず協議会のしくみと役割について理解したものの、1層2層3層とある所で、1層も大事だけれどやっぱり第5層の小さい所から話を聞いてみましょうという話がありました。また、ビジョンから決めたらどうかとあるけれども、ビジョンを決めるためには、協議会の運営計画案を見なくてはならないと思います。計画案について何かわからない点や質問したい点がありましたらお願いします。</p>
佐藤委員	<p>捉え方が難しすぎるような気がします。最終的に目指している生活支援体制が、すでに地域の中にできているところもかなりあるので、第5層の行政区をどうしていくのが最終的なところだと思います。その目的はわかっているけど、難しい仕組みを作ってしまうと、進まないのかなと思います。</p>
小野会長	<p>皆さんいかがでしょうか。</p>
浅野委員	<p>佐藤委員もこの後、地区社協の情報交換会に来て頂きたいのですが、資料にも宝探しから始めるとあります。地域にすでにあるもの、地域の宝探しからしましょうということで、この2年くらい、美里町の良いところなどを話しあい、積み上げてきました。</p> <p>さきほど佐々木委員から、すでに頑張っている地域にスポットライトをあてて、他の地域にも知ってもらおうといった提案がありました。ぜひ取り組んでいきたいですが、会議で話すだけではなかなか何も見えないんですね。地域に私たちが出ていく、まずは行くというテーマにして、まずは地域に出向く、話を聞くという感じでいいと思います。</p>
小野会長	<p>資料を見ると難しく感じるのですが、浅野さんが言ったことが基本だと思います。だから、あんまり難しく感じなくていいと思います。計画案を今、決めるのはちょっとできないよね。</p>
浅野委員	<p>一方で、町の委託事業でもあるので、評価や成果などを考える必要もあります。今年度については、委員で地域に出向くというテーマにしようなどと決めていた方がいいかなと思います。</p>
佐々木委員	<p>今まで話し合ってきたことに対して取り組んだことを成果として残すことは必要だと思うので、それはそれできちんと整理しないと。</p>
小野会長	<p>浅野さんが言う、地域住民の声に耳を傾けましょうというのがテーマのような気がします。実際に我々が地域に行って話を聞きましょうと。</p>

<p>浅野委員</p>	<p>社協は地域住民と話す機会はたくさんあり、地域の声を聞いています。例えば「Aさんが今度総合事業で何か事業を考える時に、ゴミ捨て等の課題を会社だけで考えてもどうしたらいいのかわからない」という話が去年、出てきましたよね。</p> <p>住民に「来てください」といってもなかなか難しいので、住民の人達に混ぜてもらおうという姿勢じゃないと、地域や住民との接点ができない。地域に混ぜて下さい、地域のことを聞かせて下さいと、地域ではこんなこともして頂いていたんだねということをお伝えできるようになればいいかなと思います。</p> <p>今まで、地域との情報交換会でも、例えば「Aさんが来てくれた、役場が来てくれた」と地域住民のみなさんはとても喜んでいました。地域にゲストが来てくれるとすごく喜ばれるんです。まずは、ここ何年間地域に足を運ぶことを地道にやっていく。その中でももうすでに出来ているものはきちんと見えるように、認めていく。この地域はすごいね、今までありがとうということも伝えていきたいし、もし何か課題があるのであれば、また考えるというのを繰り返していくと。</p>
<p>小野会長</p>	<p>そうだね。具体的に、何月何日に5人位で行って話を聞きましょうとか、具体的な案をどんどん言って作っていったほうがいいかもしれないね。</p>
<p>相原技術主幹</p>	<p>この協議会は、ここで何かを決める訳ではないので、話しあったことを、皆さんが住む地域や事業所に持ち帰られて検討していってもらうことが、大事だと思います。ここの委員と事務局あわせて10数人しかいないのですが、その10数人が地域に出て行きましょうという訳ではなくて、例えばJAさんだったら、ここで出た話し合いの内容を持ち帰ってもらって、事業所内でも何人かで行ってみようとか、あとは私達からも事業所に声を掛けて、みんなで出て行けるようにしたいと思います。委員だけでなく、みんなで地域に出て行けるようにしていきたいと思います。</p>
<p>浅野委員</p>	<p>例えば、住民とのグループワークでこれってどうなのと聞かれた時に、私が知らない事があった場合、地域包括支援センターだけでなく、例えば役場の障害福祉係やまちづくり推進課などに来てもらえないかなと思っていました。社協からも役場の関係課に声はかけますけど、社協や役場職員をはじめ、いろんな人達がまちづくりに関わっていくようなしくみを作ったほうがいいと思うし、協議会があってメンバーは決まっているけれど、もうちょっと自由で柔軟なまとまりで話せるといいと思います。</p> <p>そして、資料の住民部会・専門職部会についてですが、この協議会だけでなく随時集まって生活支援について話せるような、協議会と地域をつなげるような場面があったらいいかなと考えています。</p>
<p>小野会長</p>	<p>私も情報交換会に出っていますが、いろいろ聞くと、この件はうちの行政区で使えるのかなとか真似してみようかなとか、非常に助かる部分もあります。例えば、行政区でお祭りをどうやっているか勉強になるし、地域に帰ってから役員会で、今度こうしようかと話すこともあります。情報交換会はずごく大事だと思います。何年くらいやっているのかな。</p>

浅野委員	<p>4年目くらいですね。情報交換会では、こんなお茶っこ飲みしているよとか、買い物支援が始まったグループがあるよとか、年度の最後に合同報告会を開催しています。地域の成功事例や、いいなと思った事例を教えてくださいることによって、これは無理そうだけど、これはできるよといったことがあれば、逆に事業所さんはそのような声を拾って頂いたり。</p>
小野会長	<p>ひとつのきっかけで、そこでいろんな課題が出てきたから、こんなのやってみようとか。そのような事からでいいと思います。区長や民生委員は、みんな地域を何とかしようと思っている。そういうことから始まっていくと思います。</p> <p>では、協議会のしくみと役割の整理についてはよろしいでしょうか。年間計画については今決められないと思いますが、計画案についてお願いします。</p>
浅野委員	<p>協議会は4回開催予定です。今日が1回目であと3回ですね。実は、去年一昨年とやってきたことの続きです。例えば9月の予定を見て頂くと、今日話したことを一回振り返りして共有したり、例えば他の町を見に行き行って今後どうするか検討したり、地区社協で情報交換会やっているようだから参加してみたり、その様なイメージです。12月位にちょっと専門職が集まった方が良くはないかとか。</p> <p>地域カルテの整理とありますが、66行政区があって、こんなにも地域によって差があるとわかったのは、4年間情報交換会を行ってきたからだと思います。この行政区にはこんなお祭りがあるとか、どんな農家組合があってどんな取り組みがあるとか、そういう基礎情報を一覧にして私達がわかるものを、生活支援コーディネーターが、調べて書けたらいいなと思います。それを目的にする事によって、コーディネーターが区長さん行ってみていいですか、何かあった時教えて下さいと言って、地域の人とつながるきっかけにもなります。今年度全部きちんとしたものにするのではなく、私達が長く何年も生きてきた中で、記憶の中にあるものを書き出せばいいのかなと思います。</p>
佐々木委員	<p>お茶飲み会などの地域の実態を知る事で、全然やってない所もあるようだねとか発見になるのかなと思いますね。</p>
浅野委員	<p>どこでもお茶っこ会一生懸命やっているし、まずはどこの地区で何回位やっているのかを、何となく漠然とわかっているけれど、コーディネーターに教えて頂いて、整理していききたいと思います。</p>
佐々木委員	<p>区長さんとかに聞いて、どれ位の頻度でお茶のみ会などをやっているのかを把握する必要があります。回数的に少ない地区は、他の地区と同じ位になるようにしたり。</p>
小野会長	<p>地区によって全然違うからね。不動堂は4回はやるようになっていますので。</p>
浅野委員	<p>私、大崎市清滝地区のお茶っこ飲み会に呼ばれて行ってきたのですが、2列位席が空いていたんです。どうしてなのかと思ったら、後から高齢者のみなさんが来たんです。誰なのかと思ったら、その地区のグループホームの職員と利用者でした。</p>

	だから、年に何回か区長さんがグループホームに行くっていうのもあるけれど、実際にそのデイサービス等の事業所が地域から隔離されたものではなくて、地域にある施設と考えた時に、その地域のお茶っこ飲み会に来て下さいと言った区長さん、すごいなと思うし、それを待っている地域の人もいるんです。実は、その時、グループホームの利用者さんに手を振られたんです。美里町の人だったんです。あら、懐かしいって言われたんです。だからこれが地域っていうものなんだなぁと感じました。
小野会長	私の行政区のふれあい交流会の時も、地域にあるグループホームの利用者の方を呼んで、4人位、社員の方と一緒にお茶飲みをしたんです。
浅野委員	お茶っこ飲み会のお話を例えば今年来年、こんなことしているらしいよねという事を、ここで共有できれば少しずつ町内にある集まりを把握できると思います。
小野会長	行政区でグラウンドゴルフをした時に、グループホーム花水月に入っている81歳のおばあさんと事業所さんが参加して、そのおばあさんうまいんだよね。準優勝したんです。そういうのも事業所さんとの付き合いかなと思って。
浅野委員	まず、そういう所から始めたらどうかなと思っているのですが。
小野会長	じゃあ、ビジョンを決めましょう。
浅野委員	ビジョンというか、テーマですね。
小野会長	テーマは、さっき浅野委員が言った、地域に出て行って住民の話を聞くというのでいいのではないですか。何かいい言い方ないですか。
佐々木委員	ふれあいとか...。宝探しとか...
浅野委員	美里の宝探しとか。
小野会長	宝探しいいですね。
浅野委員	宝探しをして自慢大会でもしますかね。
小野会長	佐藤委員どうですか。
佐藤委員	良い例を拾って広げることをしないといけないと思います。
小野会長	悪い所の反省ばかりしていてもね。
佐藤委員	地域で良いことやっている所を広げるイメージで。
小野会長	刺激を受けるんだよね。そういうの大事だと思うから、小さい宝でも必ず地域の宝はどこかにあるから、それを探す所から勉強して行けたらいいのかなと。なんか表現でいいものないのかな。千葉委員どうですか。
千葉委員	資料の広報誌が素敵だなと思って。
浅野委員	これは、登米市の生活支援体制整備事業広報誌です。「おたがいさま」が第1層のテーマで、迫圏域のおでって Net というのが第2層なんですね。登米市は1層が1人、地域ごとの2層に5人の生活支援コーディネーターがいるそうです。
千葉委員	広報誌にこのような写真を載せていると、地域の活動がすごいわかりやすいと思います。

浅野委員	今年の活動のひとつに広報誌の発行を入れますか。
千葉委員	その地区のいい活動を広報誌に載せて、刺激を地区に与えて、やる気を地区に持たせていかないとと思うんです。上手にまとめているなと思います。
小野会長	こういうのをまとめるの社協さんとっても上手いんだ。
佐藤委員	高橋コーディネーターが地域の集まりなどに出向く中で、行事等の写真を撮って来て、材料にしてね。
千葉委員	こういう活動をしている地区を紹介して、広げていかないと。意識改革をしてね。
小野会長	社協だよりみたいだね。
浅野委員	高齢者が2,3人集まって踊りを踊っていたり、踊りが終わった後にお茶飲みしていたり、そういう場所にも行けるかなと。今までは、町広報や社協だよりに載らなかった集いの場にもね。
千葉委員	笹館行政区にブルーシートの会があって、継続的に続けていて、参加する人もそこに行くのを楽しみにしているんですね。デイサービスには行きたくないけど、ブルーシートの会には行きたいという人もいます。地域とはつながってみたいと。お天気のいい日は、ブルーシートを引いてみんなでご飯を食べたり、一緒に歌ったり、地道にやっている活動を取り上げてもらって、広報誌に載せて紹介していけると良い。
浅野委員	ブルーシートの会ができたのは、地区社協情報交換会が発端です。笹館行政区には3つの自治会があって、行政区はひとつだけけれど、バラバラだという話が3、4年前に出てきました。自治会3つを融和するのに何かないかなとなった時に、笹館にあるデイサービス美花月のスタッフさんと笹館の集会所でマージャンしたり、体操を教えてもらったり、一方ではブルーシートの会が生まれました。ああいうポツポツと生まれるようなものが、区長さん先導というのもあるんです。
千葉委員	区長さんの考え方にも左右されますね。
小野会長	でも、区長さんみんな地域を愛しているよ。地域の宝探しをしようという事で、地域のお茶っこ飲み会の様子とかを写真を撮って、情報誌を作りながら徐々にやってみましょう。今後の進行は、事務局にお願いします。
高橋	では、続きまして進行させていただきます。5.その他として、社協から地域福祉活動計画策定にあたりまして、永沼からお話があります。
永沼	<p>よろしく申し上げます。「第3次美里町地域福祉活動計画策定に伴う策定委員の推薦について」という資料をご覧くださいと思います。第2次美里町地域福祉活動計画は、美里町社協が中心になって、住民・関係機関の方々のご協力を受け、策定委員会の設置をして5年計画を作っておりました。このたび、美里町でも第1期地域福祉計画が策定されたのもあり、社協でも今後、第3次地域福祉活動計画を策定していこうと思っております。</p> <p>この生活支援体制整備協議会では、高齢者中心のテーマで協議が進んでいくと思われれますが、障害・児童・生活困窮者、いろんな分野で課題がでてきております。それ</p>

	<p>らを総合的に考え、状況を踏まえた計画をつくっていくと。美里町が策定した地域福祉計画は地域福祉の基本的な考えや理念ですが、社協の地域福祉活動計画は、住民の方々や関係団体も含めての行動計画的な意味合いを持っているものです。それに伴いまして、この生活支援体制整備事業から一名、委員としてご推薦頂きたいと思います。</p> <p>小野会長や角田委員、佐藤俊幸委員はすでに別組織代表として策定委員の内諾をいただいているため、この協議会からは佐藤美佳委員・伊藤秀司委員・佐々木義夫委員、この3名から1人、計画策定委員として委嘱したいと思っています。先ほど、協議会会長には小野委員、副会長には佐藤美佳委員が選任されたので、佐々木義夫委員に策定委員をお引き受け頂ければと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
佐々木委員	はい。いいです。
永沼	ありがとうございます。計画策定委員会も、生活支援体制整備協議会と情報共有して、地区社協情報交換会につきましても、この計画と融合してやっていきたいと思えますので、重ねてお願い致します。
高橋	ありがとうございます。それでは、閉会いたします。閉会の挨拶を副会長にお願い致します。
千葉委員	お忙しい中、今日はお集まり頂きありがとうございます。よりよい美里町が作れるように、みなさんと頑張りたいと思います。今日はありがとうございました。

上記会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

年 月 日

委 員 \_\_\_\_\_

委 員 \_\_\_\_\_

